

㊦ A - 8 九州農村生活に関する研究 (第1報)
生活環境の背景と食生活の実態と農作
業の及ぼす疲労の一考察

東筑紫短大 宇城 カ子
○納身 節子

1. 日本人の栄養水準は、その所要量の目標は近時、高度に再三改定された。その背景、要因には、栄養科学の進歩、日本人の体位向上、その他があげられるだろう。

併し、現実の日本人の栄養摂取の水準は、国民栄養調査その他の統計発表によると、所要量の目標に必ずしも到達せず、一方、都市・農村の較差の大なることも指摘されている。そこで吾々は、その実態の把握と、その要因たる背景の分析を行い、改善指導の実験を試みるため、その調査・研究を行ったので、茲に第1報として報告する。

2. ① 社会的・文化的・経済的背景の実態調査
② 食生活環境及び栄養摂取量、食糧構成の究明
③ 農作業の及ぼす疲労反応の分析
④ 体位及び血圧測定調査